



水にすむ生き物を捕まえる児童たち

## 水路に入り 生き物調査

間々田小児童

【小山】間々田地区の田んぼなどで環境保全に取り組む「自然の里ままだ」(福田重昭代表)は26日、間々田小の2年生87人と間々田八幡公園西側の水路で生き物調査を行った。

自然の豊かさを学ぶため、自然の里ままだと同校が連携し、授業の一環として毎年実施している。児童たちは長靴を履いて水路に入り、網で水や泥をすくってフナやカエル、シジミなど水にすむ生き物を捕まえた。大きな魚を見つけると歓声も上がっていた。

ザリガニやドジョウなど

たくさんの生き物を捕まえた綾部亮馬君(8)は「いろんな魚が捕れて楽しかった。学校の近くにこんな生き物がいると思わなかった」と笑顔を見せた。採集した生き物は同校で観察し、後日、マップを作製するという。